

# 2017夏期スケジュール 国際線定期便の概要

2017夏期スケジュール（2017年3月26日～2017年10月28日）期間の事業計画について、航空会社112社（本邦8社/外航104社）から申請があり、3月24日付で認可。

運航便数全体の動向（注：当初認可時における第1週目の運航便数、今後期中での増減はあり得る）

旅客及び貨物便合計で**過去最高の5,169便/週**。

本邦社：**1,482便/週**（28.7%）（'16夏期比+77.5便/週・'16冬期比+26.5便/週）

外航社：**3,687便/週**（71.3%）（'16夏期比+84.0便/週・'16冬期比+99.0便/週）

## 主な動向

### ○首都圏空港（羽田・成田）・関空・中部空港の動き：就航便数の着実な増加

【羽田】昼間時間帯では、4/1より**日本航空がニューヨーク線を新規開設**。

深夜早朝時間帯では、8月より**全日空がジャカルタ線を増便**。台湾社が台北線を増便。

【成田】**韓国社**が仁川線を増便。**ロシア社**がユジノサハリンスク線、ウラジオストク線を増便。

【関空・中部】韓国、香港方面を中心に増便。

### ○地方空港の動き：近距離アジア路線の新規就航が加速

**新千歳空港**において、**発着枠の増枠を背景に新規の中国社が就航**したほか、南京線が新規開設、上海線が増便。**新石垣空港**では、台湾社が台北線を新規開設。**北九州空港**では、'16冬期中に就航した韓国社が仁川線・釜山線を増便。

### ○LCCの動き：市場の堅調な拡大

**'16冬期比で84便/週増**となり、**全旅客便数に占めるLCC比率が23.6%**に（過去3年6期の平均成長率は約17%）。うち韓国社LCCによる増便が60便/週、本邦LCCによる増便が24便/週。

# 2017夏期 国際線(旅客・貨物便) 国籍別動向

## 【国籍別】

本邦社：1,482便/週（28.7%）（'16夏期比+77.5便/週・'16冬期比+26.5便/週）

外航社：3,687便/週（71.3%）（'16夏期比+84.0便/週・'16冬期比+99.0便/週）

## 《外国企業》

最多国籍は韓国社で882便/週（外国企業のうち23.9%）、次に中国社で771便/週（同20.9%）

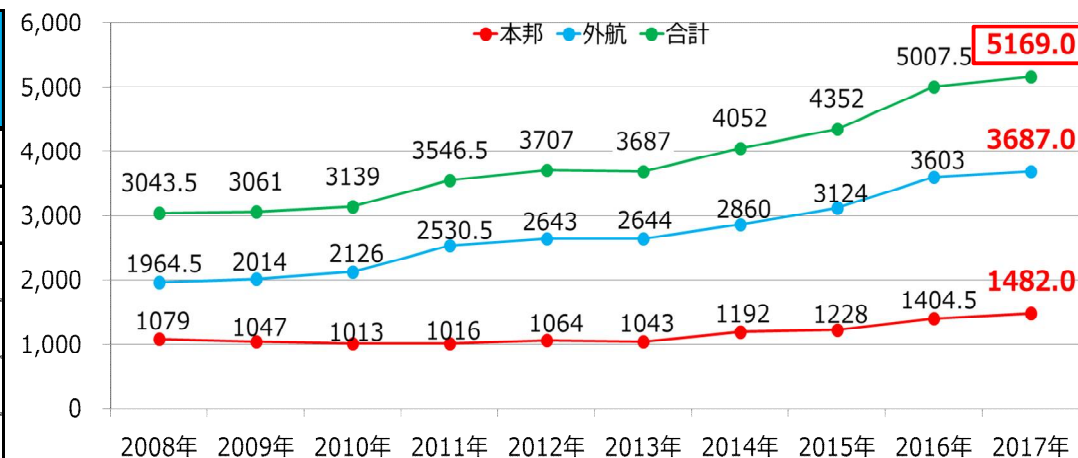
また、便数の増加が目立つのは韓国社で'16冬期比+36.0便/週、次に香港社で'16冬期比+33.5便/週

単位：便/週

夏期スケジュール推移

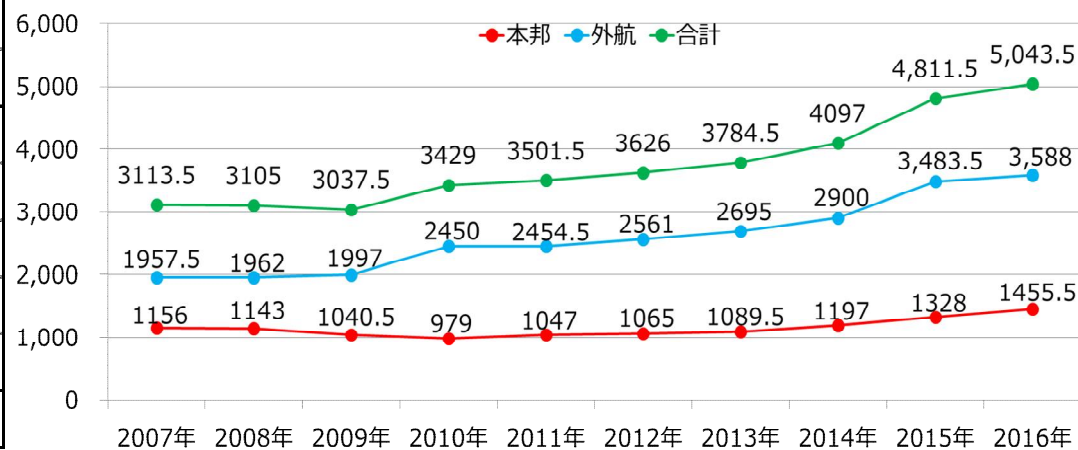
単位：便/週

航空会社国籍	2017 夏期		2016 冬期	2016 夏期	
	16冬期比	16夏期比			
日本企業	1,482.0	26.5	77.5	1,455.5	1,404.5
外国企業	3,687.0	99.0	84.0	3,588	3,603
中国	771.0	-4.0	-27.0	775	798
韓国	882.0	36.0	149.0	846	733
台湾	399.0	-10.0	-73.0	409	472
香港	344.5	33.5	56.5	311	288
シンガポール	107.0	-2.0	1.0	109	106
タイ	96.0	0.0	0.0	96	96
その他アジア	265.0	0.0	10.0	265	255
米国	509.0	24.5	-33.0	484.5	542
ヨーロッパ	177.5	14.0	1.5	163.5	176
セアニア	52.0	8.0	7.0	44	45
中東	55.5	-4.5	-11.5	60	67
その他	28.5	3.5	3.5	25	25
計	5,169.0	125.5	161.5	5,043.5	5,007.5



冬期スケジュール推移

単位：便/週



# 2017夏期 国際線 貨・客別動向

【旅客便】旅客便は、昨年の伸びには劣るものの増便を継続。韓国社、特にLCCの増便が寄与。  
 【貨物便】貨物便は、全体的に微減傾向。関西空港での中国社による減便が影響。

単位：便/週

夏期スケジュール推移

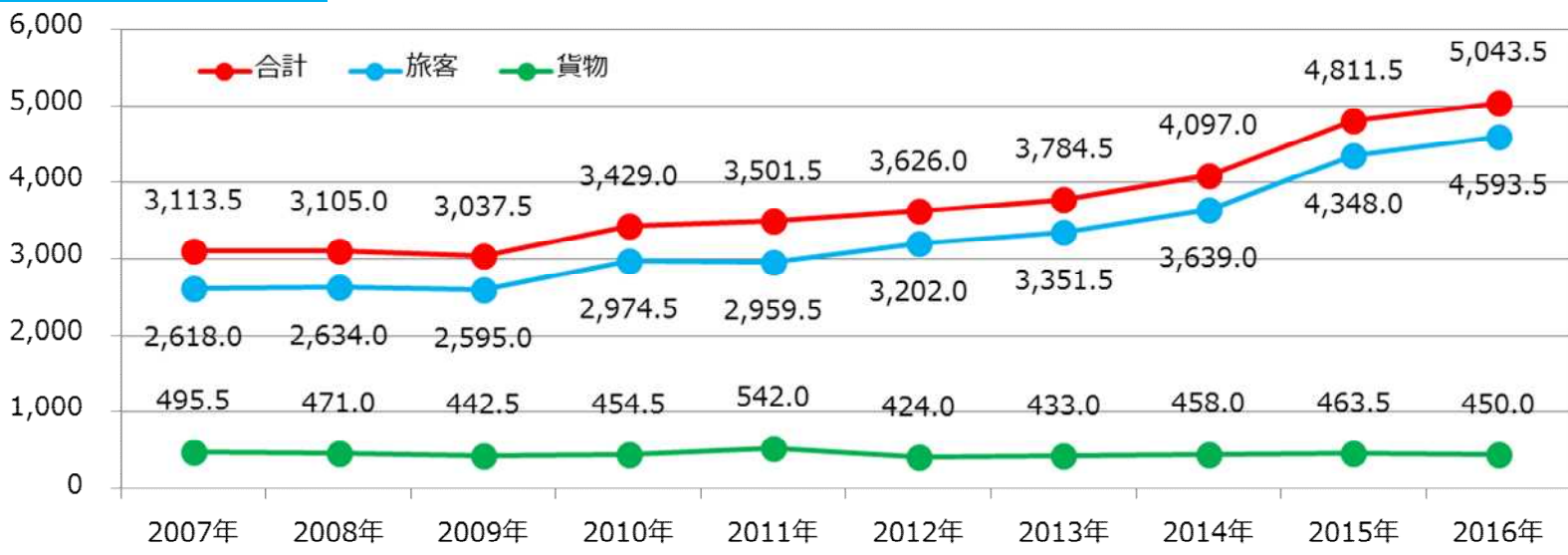
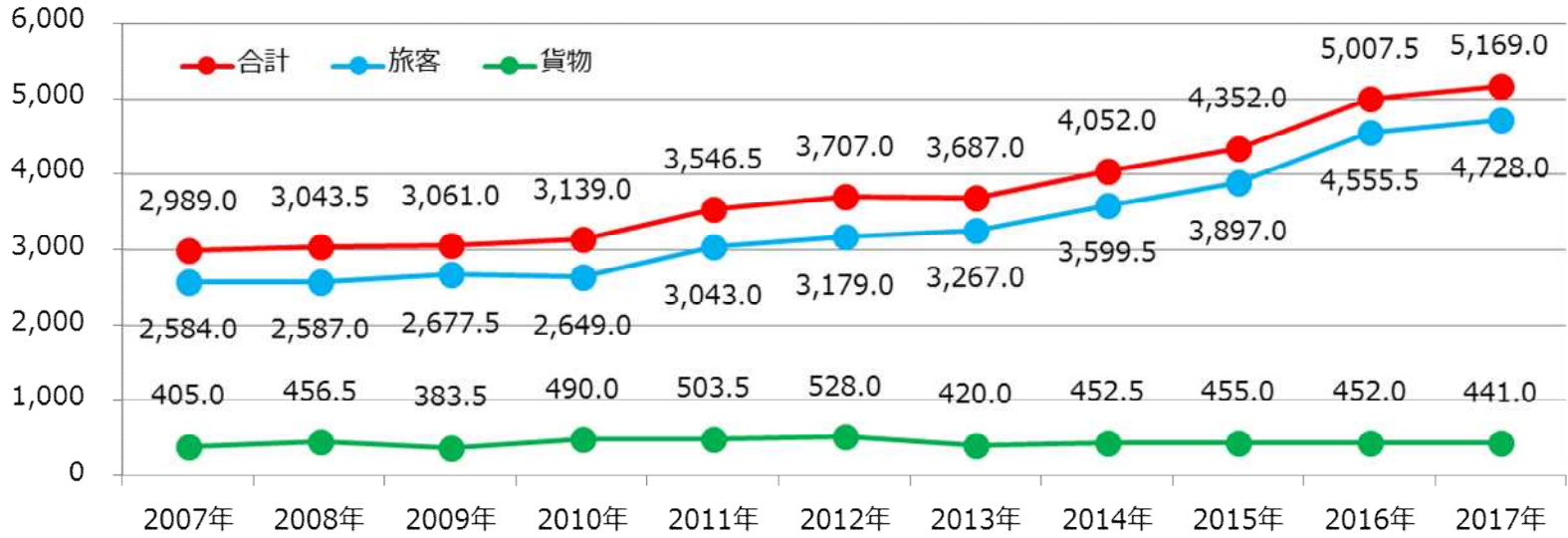
単位：便/週

空港	2017 夏期		2016 冬期	2016 夏期	
	16冬期比	16夏期比			
<b>旅客</b>					
成田	1,611	37	49.5	1,574	1,561.0
羽田	758.0	10.5	40.0	748	718
関西	1,113.5	19	2	1,094.5	1,111.5
中部	348.0	24.5	-1.0	324	349
地方	898	44	82	854	816
福岡	328	-3	11	331	317
那覇	186	21	28	165	158
新千歳	144	9	37	135	107
その他	240	17	6	223	234
計	4,728.0	135	172.5	4,593.5	4,556
<b>貨物</b>					
成田	243.5	0	-1	243.5	244.5
羽田					
関西	135	-6.0	-10	141.0	145
中部	20	-2	-2	22	22
地方	42.5	-1.0	1.5	44	41
那覇	38.5	0.0	2.5	39	36
その他	4	-1	-1	5	5
計	441	-9	-11.0	450	452.0

冬期スケジュール推移

単位：便/週

<b>全体</b>					
成田	1,854.0	37	48.5	1,817.5	1,806
羽田	758.0	10.5	40.0	748	718
関西	1,248.5	13.0	-8	1,236	1,256.0
中部	368.0	22.5	-3.0	346	371
地方	940.5	43.0	83.5	898	857
福岡	328	-3	11	331	317
那覇	224.5	21.0	30.5	204	194
新千歳	144	9	37	135	107
その他	244	16	5	228	239
計	5,169.0	126	162	5,043.5	5,007.5



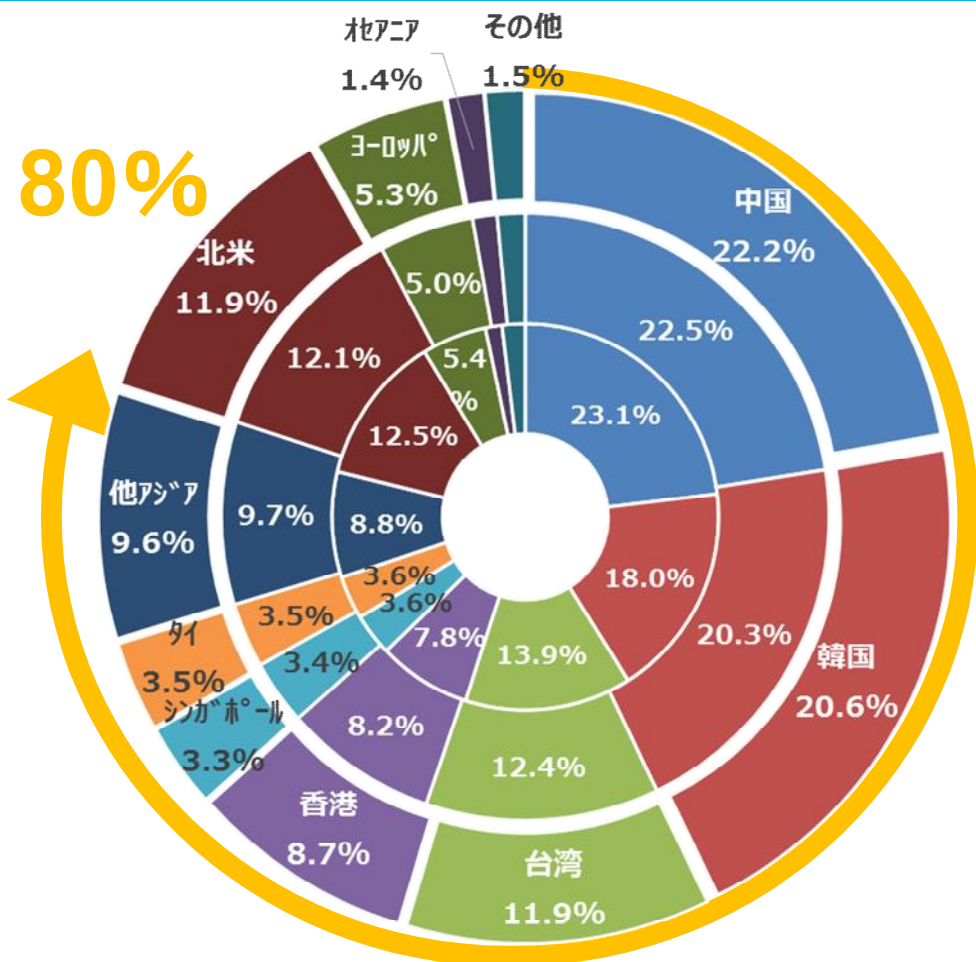


# 2017夏期 国際線(旅客便) 方面別・空港別内訳

【方面別】 アジア方面の便数が全体の約80%を占める。アジアの中で最多は中国方面で、次いで韓国方面、台湾方面の順。LCCによる就航が続いている韓国、香港方面がシェアを拡大。

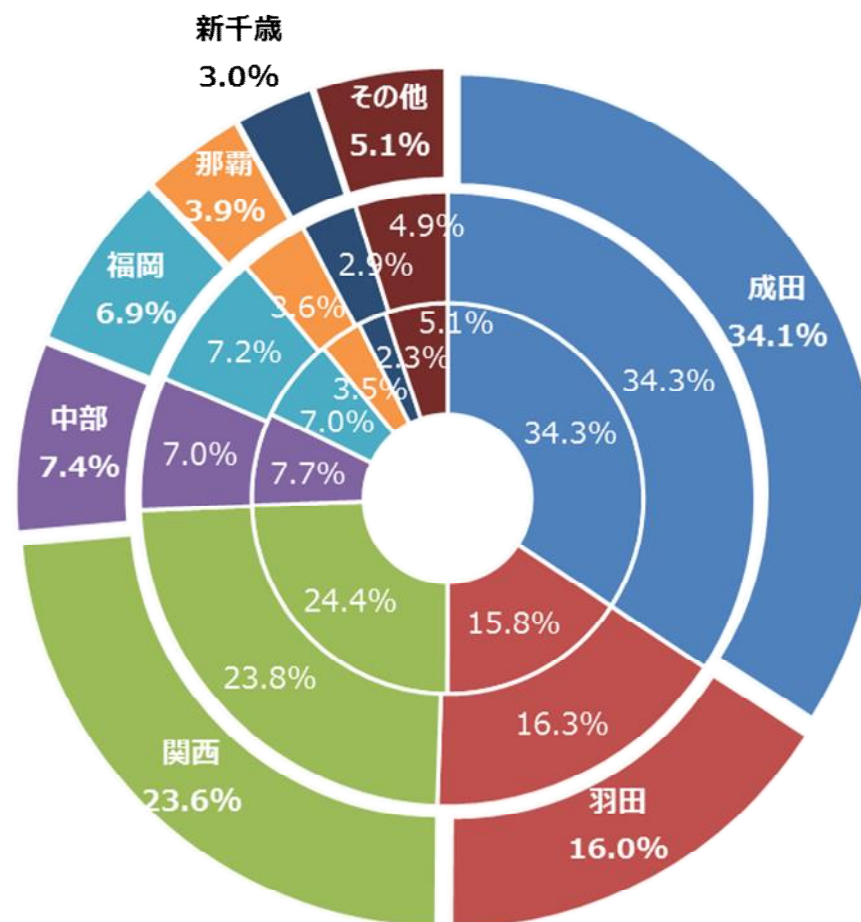
【空港別】 成田・羽田空港で全体の約半数を占める。中部空港は、韓国便,中国便の増便によりシェアを拡大。那覇空港は、台湾便、香港便の増便によりシェアを拡大。

方面別



※'17夏期 (外側) 、'16冬期 (中間) 、'16夏期 (内側) の各期における各方面の占める便数割合

空港別



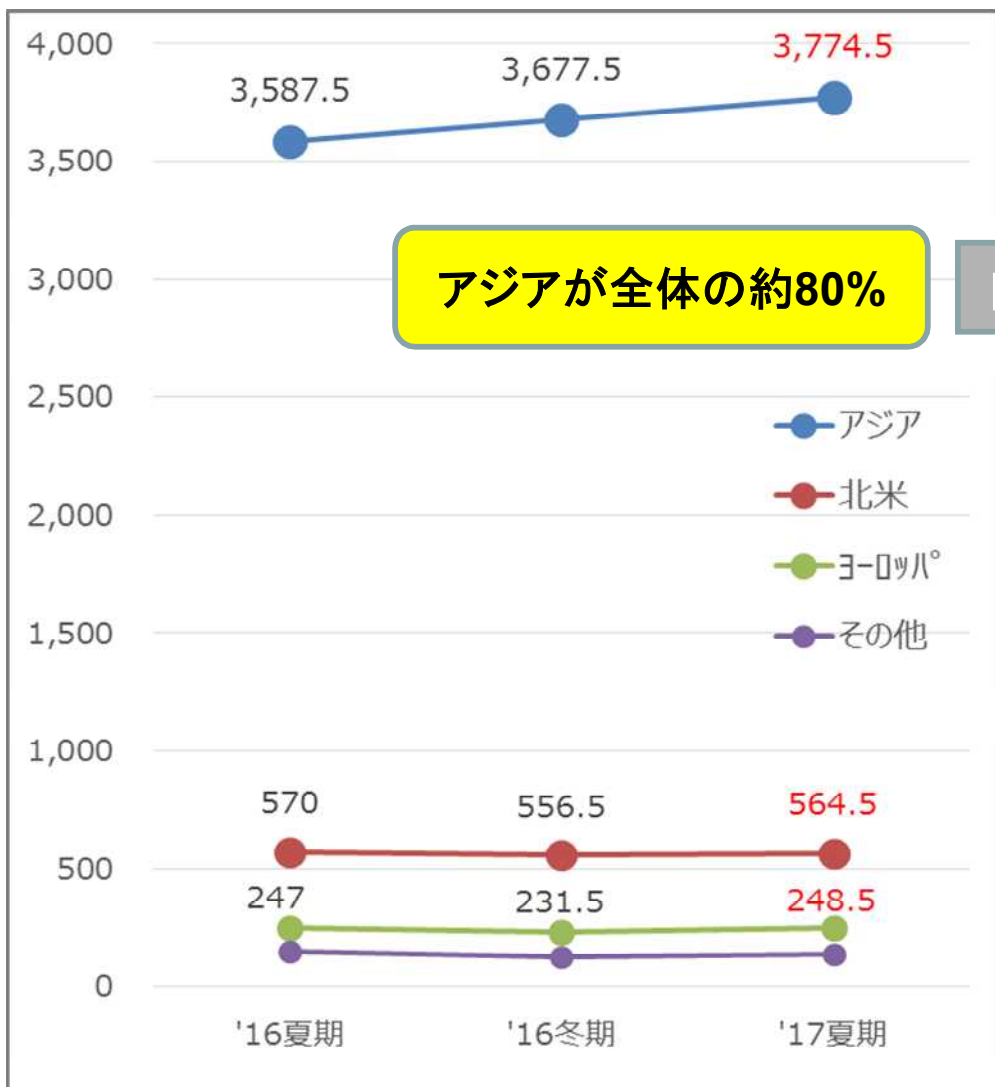
※'17夏期 (外側) 、'16冬期 (中間) 、'16夏期 (内側) の各期における各方面の占める便数割合

# 2017夏期 国際線(旅客便) 方面別推移

旅客便全体の約8割を占めるアジア方面の増加傾向が継続中。増加の牽引役は韓国方面で、増加分の大半は済州航空やティーウェイ航空,エアプサン等の韓国LCCが担っている。一方で台湾方面は、就航航空会社の減少も影響し減少傾向。

方面別内訳

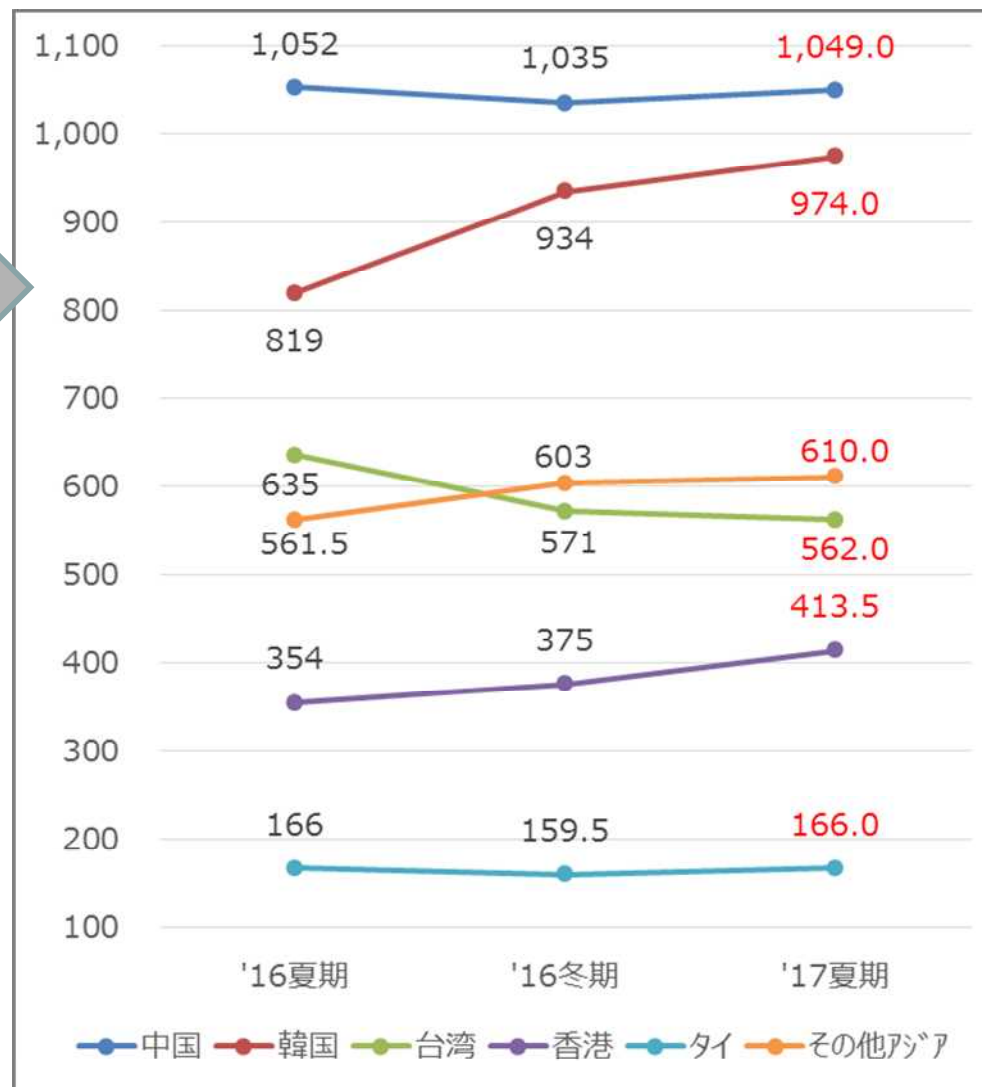
単位：便/週



内訳

アジア内訳

単位：便/週



# 2017夏期 国際線(旅客便) 空港別推移(成田・羽田)

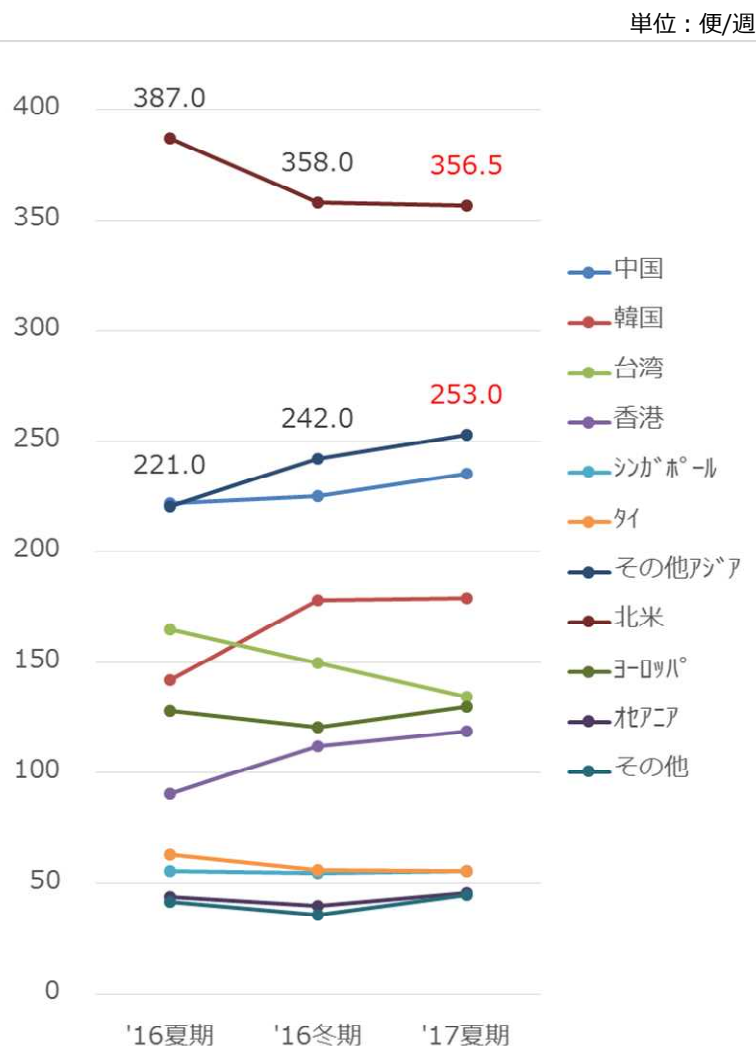
【成田】 アシアナ航空、イースター航空、済州航空が仁川線を増便。日本航空がモスクワ線、オーロラ航空がユジノサハリンスク線・ウラジオストク線を増便。

【羽田】 昼間時間帯では日本航空がニューヨーク線を新規開設。深夜早朝時間帯では全日空が期中よりジャカルタ線を、タイガーエア台湾が台北線を増便。

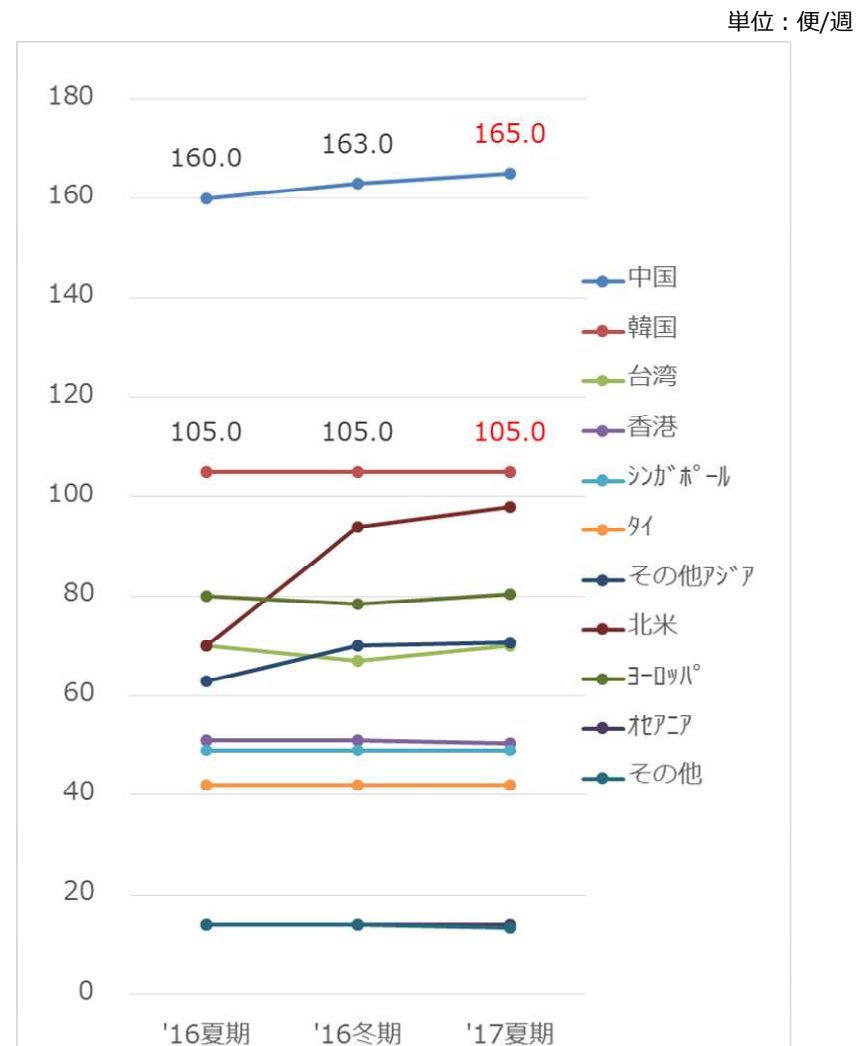
単位：便/週

成田	'16夏期	'16冬期	'17夏期
中国	222.0	225.5	235.5
韓国	142.0	178.0	179.0
台湾	165.0	150.0	134.5
香港	91.0	112.0	119.0
シンガポール	56.0	55.0	56.0
タイ	63.0	56.5	56.0
その他アジア	221.0	242.0	253.0
北米	387.0	358.0	356.5
ヨーロッパ	128.0	121.0	130.0
オセアニア	44.0	40.0	46.0
その他	42.0	36.0	45.0
合計	1,561.0	1,574.0	1,610.5

成田



羽田



# 2017夏期 国際線(旅客便) 空港別推移(関西・中部)

【関西】中国方面では中国南方航空が大連/武漢線を、北京首都航空が瀋陽線を新規開設。  
 欧州方面ではフィンエアー、KLMオランダ、ルフトハンザが冬期の減便を復便。

【中部】韓国方面では、済州航空が仁川線を増便。中国方面では中国南方航空が長春線を新規開設、瀋陽線を増便。

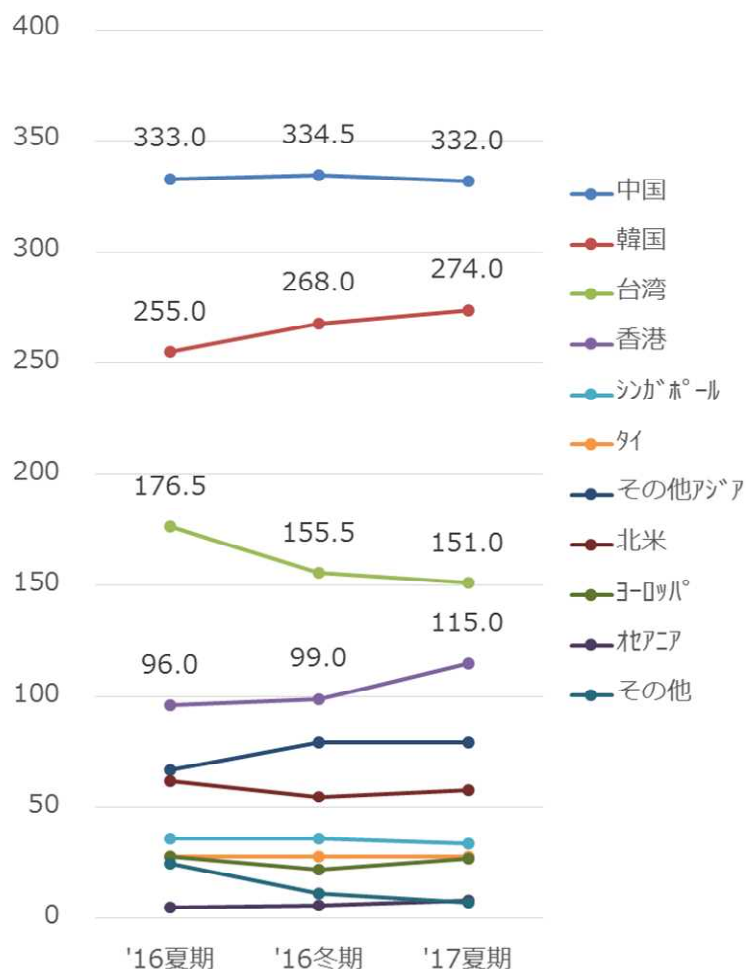
単位：便/週

関西	'16夏期	'16冬期	'17夏期
中国	333.0	334.5	332.0
韓国	255.0	268.0	274.0
台湾	176.5	155.5	151.0
香港	96.0	99.0	115.0
シンガポール	36.0	36.0	34.0
タイ	28.0	28.0	28.0
その他アジア	67.0	79.5	79.5
北米	62.0	55.0	58.0
ヨーロッパ	28.0	22.0	27.0
オセアニア	5.0	6.0	8.0
その他	25.0	11.0	7.0
合計	1,111.5	1,094.5	1,113.5

中部	'16夏期	'16冬期	'17夏期
中国	126.0	129.0	131.5
韓国	49.0	42.0	50.0
台湾	39.5	25.5	27.5
香港	35.0	27.0	35.0
シンガポール	7.0	7.0	7.0
タイ	19.0	19.0	19.0
その他アジア	26.5	28.5	30.0
北米	31.0	30.5	33.0
ヨーロッパ	9.0	8.0	8.0
オセアニア			
その他	7.0	7.0	7.0
合計	349.0	323.5	348.0

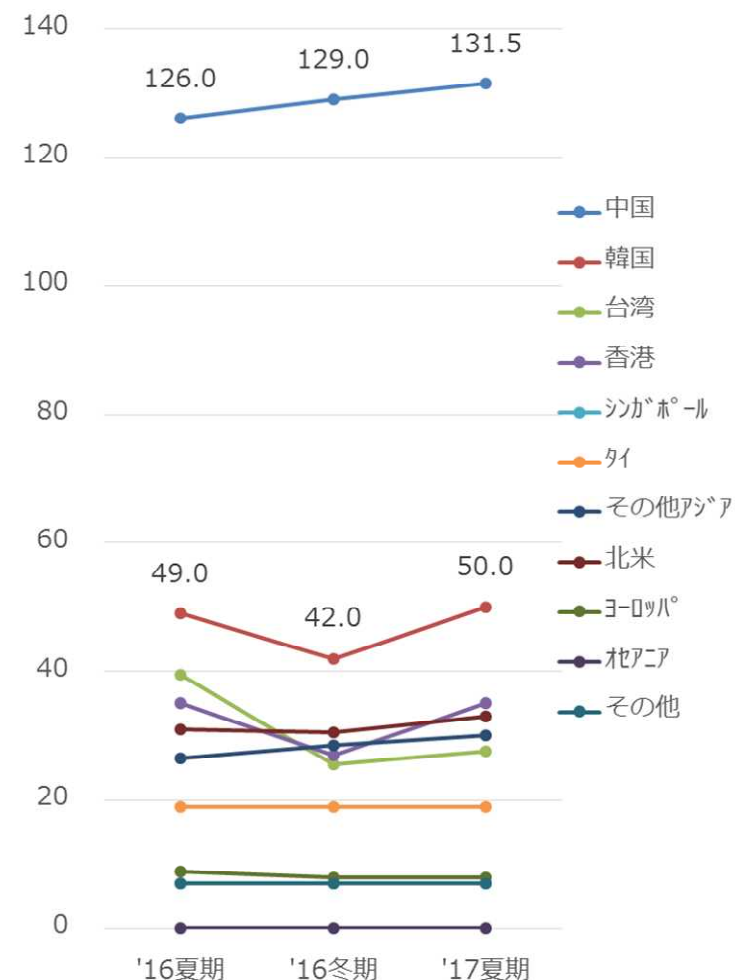
## 関西

単位：便/週



## 中部

単位：便/週





# 2017夏期 国際線(旅客便) 空港別推移(新千歳・福岡・那覇) 国土交通省

【新千歳】発着枠の増加に伴い、中国路線が増加。中国東方航空が南京線を新規開設。上海吉祥航空が新規に乗り入れ、上海便を運航。

【福岡】濟州航空、ティーウェイ航空、イースター航空のLCC各社の増便により、韓国方面が増加。

【那覇】中国東方航空が、西安線を新規開設。タイガーエア台湾が台北線を増便。

単位：便/週

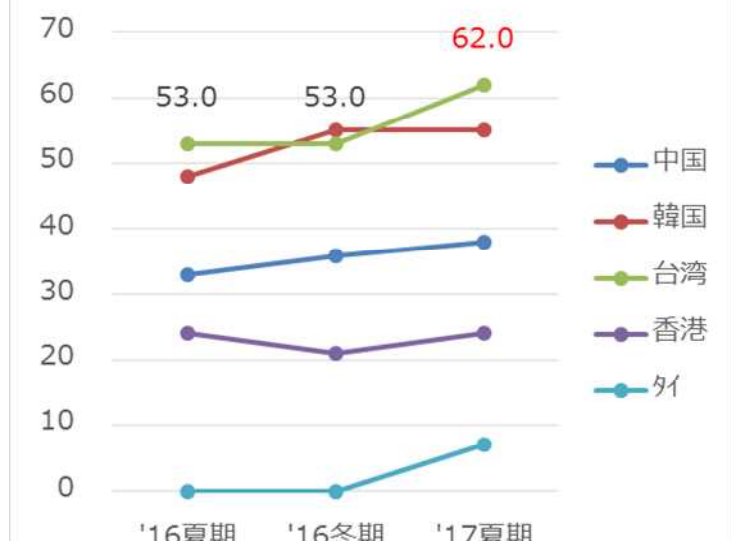
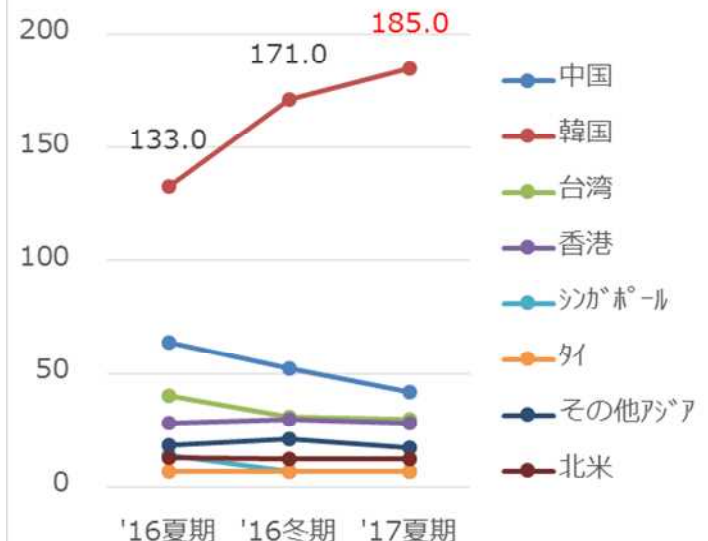
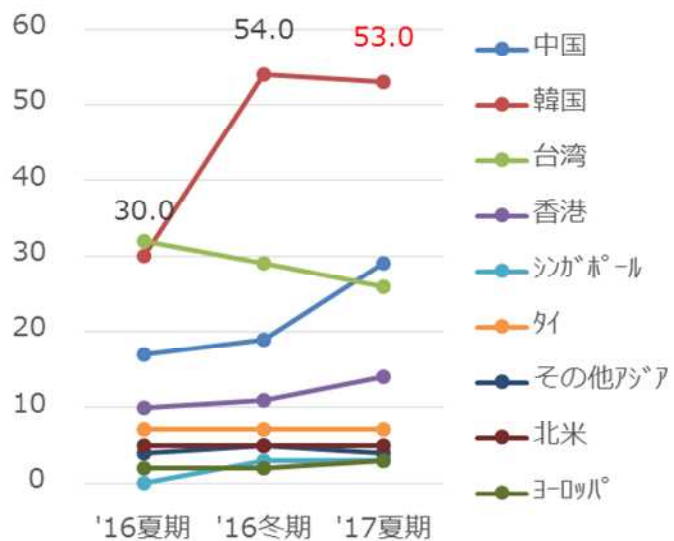
単位：便/週

単位：便/週

新千歳	'16夏期	'16冬期	'17夏期
中国	17.0	19.0	29.0
韓国	30.0	54.0	53.0
台湾	32.0	29.0	26.0
香港	10.0	11.0	14.0
シンガポール		3.0	3.0
タイ	7.0	7.0	7.0
その他アジア	4.0	5.0	4.0
北米	5.0	5.0	5.0
ヨーロッパ	2.0	2.0	3.0
合計	107.0	135.0	144.0

福岡	'16夏期	'16冬期	'17夏期
中国	64.0	52.0	42.0
韓国	133.0	171.0	185.0
台湾	40.0	31.0	30.0
香港	28.0	30.0	28.0
シンガポール	14.0	7.0	7.0
タイ	7.0	7.0	7.0
その他アジア	18.0	21.0	17.0
北米	13.0	12.0	12.0
合計	317.0	331.0	328.0

那覇	'16夏期	'16冬期	'17夏期
中国	33.0	36.0	38.0
韓国	48.0	55.0	55.0
台湾	53.0	53.0	62.0
香港	24.0	21.0	24.0
タイ			7.0
合計	158.0	165.0	186.0





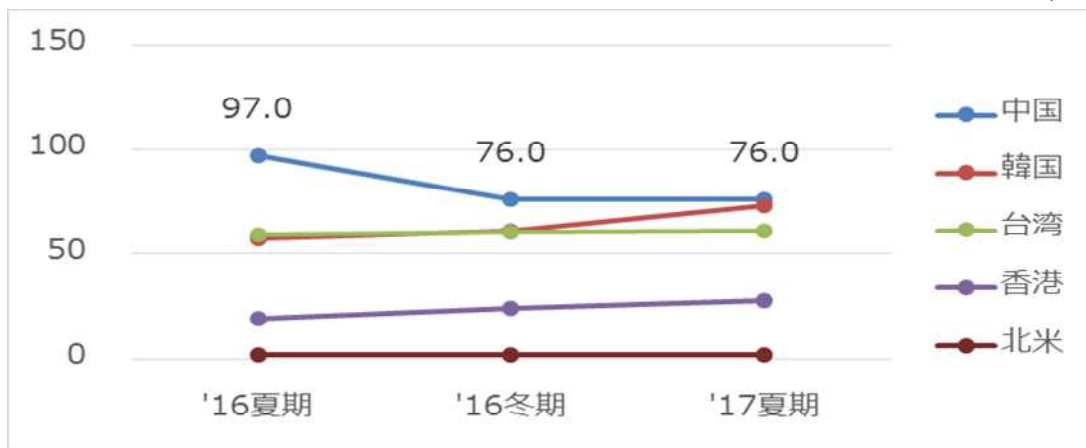
# 2017夏期 国際線(旅客便) 空港別推移(その他 地方空港)

地方空港では、韓国線を中心に増便。静岡空港では、北京首都航空が瀋陽線を新規開設。新石垣空港では、中華航空が台北線を新規開設。北九州空港では、前期途中で就航したジン・エアーが仁川線・釜山線を増便。

単位：便/週

単位：便/週

その他	'16夏期	'16冬期	'17夏期
中国	97.0	76.0	76.0
韓国	57.0	61.0	73.0
台湾	59.0	60.0	61.0
香港	19.0	24.0	28.0
北米	2.0	2.0	2.0
合計	234.0	223.0	240.0



空港	2016夏期	2016冬期	2017夏期
函館	16	11	13
旭川	9	6	4
釧路	0	0	0
青森	3	3	3
秋田	0	0	0
仙台	10	22	17
福島	0	0	0
茨城	19	6	6
新潟	10	8	7
静岡	30	24	24
富山	11	9	11
小松	12	14	14
高松	13	20	20

空港	2016夏期	2016冬期	2017夏期
松山	5	2	2
米子	3	5	5
岡山	20	19	19
広島	31	26	27
北九州	0	2	12
長崎	2	6	6
大分	4	4	6
佐賀	6	6	8
熊本	8	3	3
宮崎	8	7	7
鹿児島	12	18	19
石垣	2	2	7
合計	234	223	240

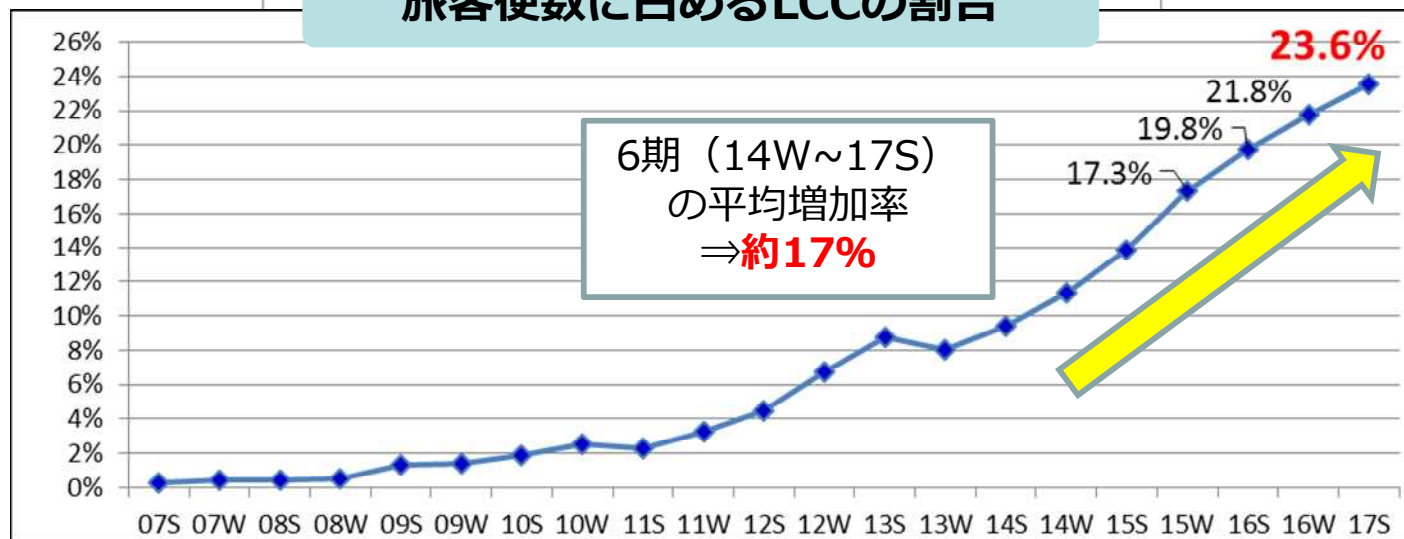
# 2017夏期 国際線 LCC便数推移

LCCは、期首時点において19社が運航し、全体で1,113.5便/週。'16冬期比で84便/週増加。うち、本邦社が24便/週、韓国社が60便/週、台湾社が10便/週それぞれ増加。

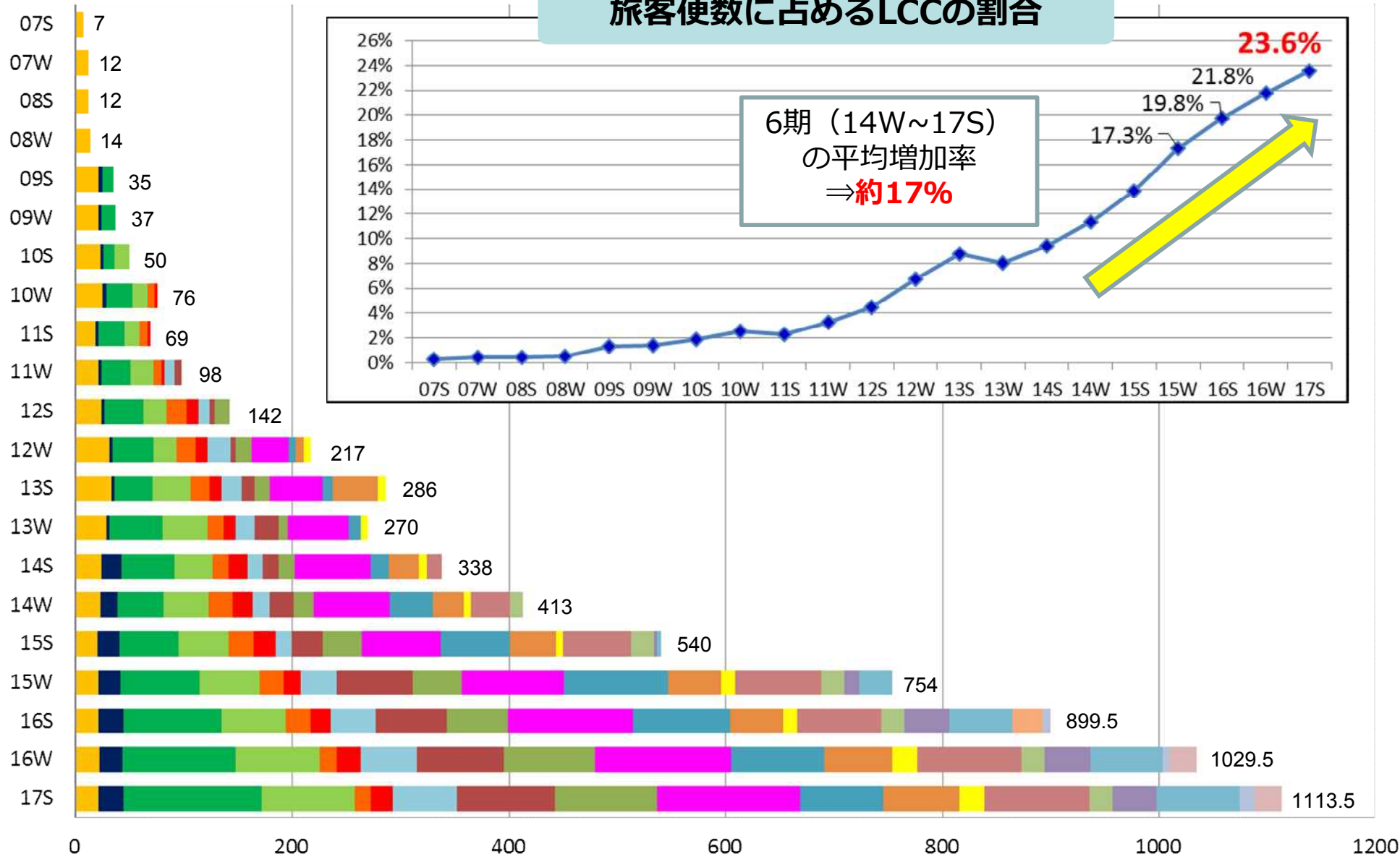
単位：便/週

凡例

## 旅客便数に占めるLCCの割合



6期 (14W~17S)  
の平均増加率  
⇒約17%



- ジェットスター
- セブパシフィック
- 濟州航空
- イアアサン
- ジェットスターアジア
- イアアジアX
- イースター
- ジンエアー
- ティーウェイ
- ピーチ
- 春秋航空
- ハニラエア
- スカート
- 香港 익스프레스
- タイエアアジアX
- ジェットスタージャパン
- タイガーエア台湾
- VIア
- 春秋日本
- イアソウル